赤磐市地震ハザードマップ（地域の危険度マップ）

吉井地域版

■“地域の危険度”とは・・

- 地震時に、地区内※ごとで“全壊する建物”の割合です。
  危険度が大きいほど、地区内で倒れる建物が多く発生します。
- 危険度は建物の耐震化を進めるなどにより、軽減していくことが出来ます。

※地区とは、50m×50m単位で分割した範囲です。
（地図中の色の付いた四角ごとです。）

1地区＝50m×50m

住宅の耐震性を高めて、地域の防災力を高めましょう。

■このマップの利用方法

マップを見て、こんなことを考えてみてください。

- ●自宅まわりの安全性
  ・・・「自宅や近隣の危険度はどのくらいなのか？」
- ●よく行く施設や場所の安全性
  ・・・「通っている学校や職場の危険度はどのくらいなのか？」
- ●自分の家や、通っている学校や職場の耐震性
  ・・・「通っている学校や職場の耐震性は十分か？」
- ●大きな家具や家電製品の位置や就寝場所などにより、家の中で危険なところはないか

平成20年4月　赤　磐　市

地域の危険度

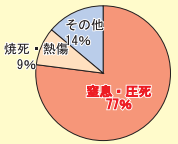
	危険度数	地域内の建物の中で全壊する建物の割合
	危険度７	30～35%
	危険度６	20～30%
	危険度５	10～20%
	危険度４	7～10%
	危険度３	5～ 7%
	危険度２	3～ 5%
	危険度１	0～ 3%

① 地域の危険度マップとは？

●地域の危険度マップとは？

地域の危険度マップは、地震による揺れによって発生する建物被害の分布を、相対的に表したものです。具体的には「揺れやすさマップ」で示した強さの揺れ（赤磐市の場合、震度5強～6強を想定）となった場合に、建物に被害が生じる程度を「危険度」として表しています。この「危険度」は、５０ｍメッシュ単位で分割した地域に建っている建物の中で、全壊する建物の割合により設定しています。危険度の数値が大きくなるほど地域の建物が受ける被害が大きくなります。

●地震による死亡・ケガの原因は何？
阪神大震災での死者のうち約８割は地震直後の家具、建物による圧死といわれています。



【阪神・淡路大震災の死亡原因】
出展：『阪神・淡路大震災調査報告書　総集編』（阪神・淡路大震災調査報告編集委員会、2000年）

つまり・・・

皆さんの生命・財産を守るためには、
住宅・建築物の耐震化が極めて重要です。

●緊急連絡先

赤磐市役所	(086)955-1111	赤磐警察署佐伯北駐在所	(086)954-0110
赤磐市吉井支所	(086)954-1111	赤磐警察署仁堀駐在所	(086)958-2200
赤磐市吉井支所仁堀出張所	(086)958-2101	赤磐警察署周匝駐在所	(086)954-0200
赤磐市消防署北出張所	(086)954-0760		

●最寄りの避難所はどこか、緊急連絡先はどこか、などを確認の上、分かりやすいところに保存しておいてください。
皆さんが災害について関心を持ち、いざというときに落ちついて行動できるよう、日ごろから災害に際しての正しい心構えを身に付けておきましょう。

この『地域の危険度地震被害マップ』の解説は、「地震防災マップ作成技術基準」（平成17年３月・内閣府）を参考として作成しています。（http://www.bousai.go.jp/）

凡　例

市役所庁舎	◉（本所）○（支所）
警察署・交番・駐在所	
消防署・出張所	消
臨時ヘリポート	
第一次避難所	第一
第二次避難所	第二
災害時要援護者施設	要援
第一次避難所・要援護者共通施設	第一 要援
第二次避難所・要援護者共通施設	第二 要援
一般国道	
主要地方道	
一般県道・広域農道	
建設予定道路	

0　500　1000m　2000m

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号　平19総複、第708号）」

避難所・要援護者共通施設一覧

番号	施設名	電話番号
1	周匝会館（第一次避難所）	(086)954-1399
3	城南小学校（第二次避難所）	(086)954-0700
6	吉井中学校（第二次避難所）	(086)954-0204
9	佐伯北保育園（第二次避難所）	(086)954-2181
21	仁美小学校（第二次避難所）	(086)958-2115

避難所一覧

番号	第一次避難所	電話番号
10	草生コミュニティハウス	(086)954-2153
10	河原屋多目的集会施設	
10	是置西作業所	
10	物理集会所	
10	是置多目的研修施設	(086)954-2231
10	滝山公会堂	
10	戸屋多目的集会施設	
10	黒沢集落センター	
10	黒本コミュニティハウス	(086)954-0826
11	先谷集落センター	
12	周匝上コミュニティハウス	
12	中村集会所	
12	福田会館	(086)954-1095
12	稲荷コミュニティハウス	
12	高田転作促進研修施設	
13	中山公会堂	
13	仁軒屋コミュニティハウス	
13	慕田多目的集会施設	(086)954-1891
13	八島田コミュニティハウス	
13	石橋改善センター	
13	塩水橋改善センター	
13	戸津野公会堂	
13	竜天くつい夢の里会館	
13	中鈴実公会堂	
13	仁堀東区民館	
13	平山コミュニティハウス	
13	仁堀中コミュニティハウス	
13	仁堀西コミュニティハウス	(086)958-2040
13	西鈴実集会所	
13	小鍋上コミュニティハウス	(086)958-2730
13	信無会所	
13	小鍋中多目的集会所	(086)958-2565
13	石上集会所	
13	中條集落センター	
13	合田集落センター	
番号	第一次避難所（赤坂地域）	電話番号
41	山手公会堂	
41	惣分公会堂	
41	坂辺公民館	
番号	第二次避難所	電話番号
23	山方研修センター	(086)954-1693
24	吉井会館（一次兼ねる）	(086)954-1111
26	佐伯北研修センター（一次兼ねる）	(086)954-2690
26	竜天天文台	(086)958-2321
27	仁美農村振興センター	(086)958-2150
28	布都美研修センター（一次兼ねる）	(086)958-2351
28	布都美林間学校（一次兼ねる）	(086)958-2565

災害時要援護者施設一覧

番号	施設名	電話番号
31	赤磐市吉井シルバーワークセンター	
32	黒本保育園	(086)954-0826
33	周匝保育園	(086)954-1133
34	小規模多機能型「たいむ・ポケット」	(086)954-2988
35	パインスクエア	(086)954-0123
36	ケアハウス　ローズガーデン	(086)954-2000
37	赤磐市つつじ荘	(086)954-2000
38	仁美保育園	(086)958-2255

② 建物の耐震化を行いましょう！

●木造住宅の耐震診断

木造住宅の耐震性は、主に３つのチェックポイントがあると言われています。
（１）新耐震設計基準（昭和５６年施行）に基づき設計されているか。
（２）住宅が過去に大きな災害を経験したことがあるか。
（３）住宅の構造、形、傷って大きな窓がたくさんあるなど、耐震に関わる基本的な住宅の性質に問題がないか。

耐震性の判断には建築の専門知識が要求されます。目立った症状が無くても、耐震診断を受けることが重要です。

●次のような項目に心当たりがある住宅は、特に要注意です。
- ・ドアまたは窓を閉めたとき、枠と建具との間に著しい縦長の三角形の隙間があいている。
- ・ドアあるいは窓の建付けが悪く、建具の開閉が変形のために思うようにいかない。
- ・窓の敷居が著しく水平を欠いている。
- ・建物の壁面が傾斜しているのが、肉眼でもわかる。
- ・床面の傾斜が座っていて感じられる。
- ・シロアリの成虫（４枚羽根のついたしろあり）が浴室から飛び出す。
- ・屋根の棟あるいは軒先が波打っている。
- ・モルタル塗壁に長い斜めのひび割れが入っている。

木造住宅については、手軽に自分でできる「誰でもわかるわが家の耐震診断」が財団法人・日本建築防災協会から提供されていますので、一度使われてみてはいかがでしょうか。
（http://www.kenchiku-bosai.or.jp/wagayare/wagayare.pdf）

●マンションの耐震診断

阪神・淡路大震災では、被災したマンションの修理・建て替えを巡る住民相互の合意形成がスムーズに行えないケースがみられました。良好な住環境を維持するためにも、早めに耐震診断・耐震補修に取りくむことが必要と考えられます。

●耐震診断・耐震改修工事に対するお問い合わせ
赤磐市役所　（産業建設部　建設課）　ＴＥＬ：０８６－９５５－１１１１
ＦＡＸ：０８６－９５５－１２７５